

平成31年度 修文女子高等学校評価（計画）

【教育方針】

全人教育・文武両立

教育の根底となる哲学「どう生きていけば幸せになれるのか」の追求

- 1 学 習
 - ・学習に打ち込むことを通して生きる力を養い、知的で豊かな人間性を育む。
- 2 課 外 活 動
 - ・学校行事を通して絆を深め、人間関係の大切さを学ぶ。
 - ・部活動を通してくじけない心を育て、たくましい精神力を養う。
- 3 社 会 性
 - ・社会生活におけるルールや礼儀を体得し、人間としての品格を備える。
 - ・地球環境について正しい認識を持ち、環境保全活動を実践する。

【目指す学校像】

魅力と活気に満ち、地域に根づく信頼される学校

【目指す生徒像】

学習指導、進路指導の充実により生徒の「学びの構え」と、生活指導、部活動指導等の充実により「生きる構え」を育み、心身ともに逞しく「生き抜く力」を身

【学校生活のモットー】

「元気に！ 明るく！ さわやかに！」

【今年度の重点目標】

- 1 社会人となるための基本を身につけさせる
- 2 学習に対する意欲を喚起し、学力を向上させる ～学力の保証～
- 3 心の教育の充実・自立心を育てる ～心の学校～
- 4 防災教育を推進する ～安心・安全な学校～
- 5 地域の期待にこたえ、信頼される学校をつくる ～開かれた学校～

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
普通科	基礎学力の定着	・毎朝の小テスト(漢字・英語)の実施 ・家庭学習の充実に向けた継続的な仕掛け	・小テストを毎朝(定期考査当日を除く)行う。合格点は8割とし、それに満たない得点の生徒には追試等を行って、より多くの生徒が英語と国語の基本的な知識を身につけられるようにする。
	応用力の養成	・習熟度別クラス編成による授業の実施(国数英) ・学力や進路希望に応じた補習の実施	・それぞれの学力に応じた適切な指導を行うとともに、よりレベルの高い授業、補習を実施することで、生徒の(客観的に計測できる)学力を引き上げる。
	視野の拡大	・進路行事の実施時における振り返りの徹底	・自身の適性や進路希望について、年間を通じて絶えず思考を深めさせる。
	可能性の追求	・模試の積極的受験の奨励と対策の実施	・自らの能力を過大評価、過小評価することなく、目的に向かって一心に学習に取り組む姿勢を育む。
情報会計科	積極的な資格取得と進学の拡充	・夏季補習、検定直前補習、朝補習、進学指導の充実	・3年間の検定取得に組織的に取り組み、日本商工会議所主催の検定合格を目指す。 ・資格を活用した入試方式の紹介、および指導を充実する。
	即戦力となる人材の育成	・始業前着席、授業準備の徹底 ・外部イベントへの積極的な参加	・コミュニケーション能力の伸長を念頭に置き、きめの細かい指導をする。 ・外部イベントにおいて商業の実践を通して、生徒の主体性を育成する。
家政科	基本的な生活習慣や基礎学力の定着	・定期的な個人面談の実施 ・保護者との連携強化	・生徒の変化を見逃さず、的確な指導を行い、考えて行動できる力を育む。
	基礎学力の定着	・家庭学習ノートの実施 ・徹底反復学習で学習コンクールの小テストを実施	・毎日家庭学習ノートを提出させ、学習習慣を確立する。 ・学科全体で小テストを実施することにより、基礎学力の更なる伸長を図る。また、不合格者には追試を実施する。
	家庭科検定の合格率の向上	・検定補習の実施 ・徹底反復学習に検定問題を実施	・家政科生徒としての自覚を持たせ、調理と被服の基礎的な技術と知識を身につけさせる。
食物調理科	調理技術と知識の習得	・調理師としての自覚の涵養	・個人面談を定期的に行い、一人ひとりの特性の把握に努め、調理師としての自覚を育てる。
	地域に根づく学科	・地域活性化事業への参加 ・地元企業との商品共同開発	・一宮市にちなんだメニューを考案する。継続的に商品化できるように地元企業に働きかける。 ・地域の方々と接することで、コミュニケーション能力を育てる。
総務課	防災に対する取組みの推進	・防災教育、安全教育の推進	・危機を予防するために、報告、連絡、相談を徹底し、安全点検や教員研修を実施し、安全に行動できる知識や能力を育成する。
	PTAや同窓会との連携の推進	・PTA活動の主体的な取組みへの支援 ・同窓会などの情報発信	・メール配信システムやホームページを通してPTA活動の取組みを紹介し、協力連携を図る。
教務課	学力の向上	・基礎学力の定着と応用力の養成	・学習コンクールで60点以上、基礎力診断テストでD2以上を目指し、入試に対応できる運用能力を身につけさせる。
		・英語教育の充実	・本校での英語活動を通して興味関心を抱かせ、英語力向上だけでなく、積極的に活用できるようにする。
		・授業規律の確立と授業力の向上	・始業や終業のけじめと挨拶を徹底する。 ・ICTやアクティブラーニング型の授業を取入れ、生徒の学習効果の向上に努める。
	図書館の利用促進	・読書環境の整備	・良質な読書環境を整備する。 ・図書館を授業、特別活動等で計画的に利用し、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。
生徒課	品位ある生徒の育成	・正しい身だしなみの確立	・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に声掛け指導を実践する。
		・交通マナーの遵守	・交通事故「0」を目指し、正しい登下校マナーを身につけさせる。
	生徒会活動の活性化	・生徒主体の活動	・生徒会活動や学校行事などが、生徒主体で企画、立案、実行できる手助けをする。
		・部活動の活性化	・充実した学校生活を送れるよう、活動日や活動内容などを見直す。 ・3年間精励した生徒、貢献した生徒に対して卒業時に顕彰する。 ・ボランティア、演奏会など、地域への活動範囲を広げる。
健康管理の徹底	・心身の健康意識の向上	・定期的に保健だよりを配付し、生徒や保護者に情報提供と協力を得る。 ・相談室開室日を定期的に知らせ、相談による心の安定した日常につなげる。	
進路課	妥協のない進路選択	・進路行事の連携と意識づけ	・継続的かつ明確な目的を持った指導により、3年間の熟慮の結果として進路選択をさせる。
		・多様な入試制度の活用	・進路検討委員会を定期的に行い、更なる難関大学への挑戦を促したり、取得した資格を活かした入試方法を提案したりするなどし、進路実現のための方法を研究し提案する。
		・就職試験対策の強化	・就職試験対策の補習により基礎学力の定着を図る。また、面接試験において加点となるような面接指導を実施し、全員が第一志望の企業に合格できるようにする。
広報課	情報発信の充実	・ホームページや学校案内等を通して、本校の魅力を発信 ・ホームページや学校案内を充実させ、本校の取組みや魅力を発信する。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRを強化する。	